

第1回 千の風サミット 新潟宣言

名曲「千の風になって」― その誕生の物語は、新井満さんのふるさとである新潟市から始まりました。そして、北海道は七飯町の美しい大自然の中で日本語詩とメロディーが生まれ、四国愛媛県は西条市出身の秋川雅史さんの熱唱で大きく育ち、日本中、いや世界中の人々の心に大きな感動を与え続けています。

「千の風になって」に深いゆかりを持つ新潟市と七飯町、そして西条市の各代表者は、本日初めて新潟の地に集い、第1回千の風サミットを開催し、名曲が取り持つご縁の不思議に感謝しながら、歌による街づくり（千の風プロジェクト）について大いに語り合い、絆を深めました。

その結果、私たちは、これからもそれぞれの都市にふさわしい個性的な千の風プロジェクトを推進していくことによって、この歌の心である“命の尊さと愛の素晴らしさ”を広く日本と世界の人々に伝えていくことを確認し、ここに宣言することにいたしました。

1. 都市の個性を生かした千の風プロジェクトを推進します

私たち3都市は、それぞれの都市の歴史や文化、風土などに由来した個性的な千の風プロジェクトに取り組んでまいります。

2. 互いの千の風プロジェクトを応援し、連携を深めていきます

3都市間の連絡体制を整備します。

また、ホームページを相互にリンクさせることにより、千の風プロジェクトのネットワークを拡大し、情報の共有化と、総合的な情報発信に努めます。

3. 千の風サミットを継続して開催します

「千の風サミット」を今後も継続的に開催していくことにより、都市間交流を促進し、絆を強めていきます。

「第2回千の風サミット」は、北海道の七飯町で開催する予定です。

4. 新井満さんからも応援いただきます

「千の風になって」の産みの親である新井満さんからもご協力いただきながら、魅力的な千の風プロジェクトを推進してまいります。

2009年（平成21年）2月13日

第1回千の風サミット参加都市

七飯町長 中宮 安一

西条市長 伊藤 宏太郎

新潟市長 篠田 昭